

令和8年11月1日

葛生・常盤・氷室地区の皆様へ

佐野市長 金子 裕

葛生文化センターの今後のあり方に関する取組方針の決定について(お知らせ)

葛生文化センターにつきましては、耐震診断の結果を踏まえ、今後の施設のあり方を検討してまいりました。

令和8年6月には、現在の敷地での平屋建てによる建替えを優先的な方向性としてお知らせしましたが、その後、地域の皆様や施設利用者等からいただいたご意見を踏まえ、施設の運営継続や必要な機能の確保を重視して建替えの方向性を見直し、9月17日に説明懇談会を開催しました。

このたび、これまでの検討や説明懇談会等でいただいたご意見を踏まえ、今後の取組方針を決定しましたので、その概要と主な質問・回答をお知らせします。

1 決定した取組方針の概要

(趣旨)

公民館及び化石館については、現敷地南側への先行建設を基本案として設計を進め、休館することなく運営を継続することにより、公民館利用者及び化石館の展示・収蔵・調査研究等の博物館活動への影響の軽減を図ります。

(施設全体)

建替えにあたっては、運営の継続や敷地条件を優先的に考慮し、平屋化を前提とせず様々な可能性を比較することで、施設規模や階数を含め最適な施設計画を検討します。

(公民館)

地域コミュニティ活動の維持を基本とし、利用実態を踏まえた施設配置となるよう設計を進め
ます。あわせて、公民館と化石館との機能連携や諸室の有効活用について検討します。

(化石館)

新施設内に収蔵庫、作業室及び展示室を配置する等、展示・収蔵・調査研究・教育普及等の博物館機能を適切に発揮できるよう必要な機能を確保します。

(野鳥等のはく製展示室)

役割や利用実態を踏まえ、限られた施設規模のなかで公民館や化石館の機能を優先する観点から、見直しにおいて継続しない方向で整理を行います。

2 説明懇談会の開催結果

日 時 令和8年9月17日(木)午後6時30分から

場 所 葛牛あくとプラザ 小ホール

内 容 見直した検討内容と今後の事業の進め方を説明し、建設場所、耐震、施設機能等に関することについてご質問やご意見をいただきました。

裏面へ

3 説明懇談会における主な質問・意見と市の回答(要約)

Q1. 旧葛生小学校への移転については、検討しましたか。

A. 移転も選択肢の一つとして検討しましたが、施設規模が大きく、維持管理上の課題があります。また、跡地の活用方針や特別支援学校の誘致に向けた協議状況に加え、現在の敷地では周辺施設との連携効果も期待できることから、総合的に判断し、現敷地内での建替えを基本としました。

Q2. 化石館の収蔵庫はどのようなのですか。

A. 当初は別施設への集約も検討しましたが、関係者等のご意見を踏まえて見直し、展示・収蔵・調査研究・教育普及の各機能を確保するため、収蔵庫を新施設内に設けるとしました。

Q3. 当初平屋建ての計画では、敷地の条件をどのように考慮していましたか。

A. 当初から浸水想定区域であることを考慮し、盛土等による対応を想定していました。新施設については、平屋建てを前提とせず、指定避難所としての役割や敷地条件等を踏まえ、安全性に配慮した施設計画を今後の設計で検討します。

Q4. 建替えではなく、耐震シェルターの設置で対応できませんか。

A. 耐震シェルターは、地震時に建物内の安全な空間を確保するための対策の一つと考えられます。一方で葛生文化センターは、公民館・化石館としての機能や避難所としての役割を担っていることから、建物全体の安全性と必要な機能を確保するため、建替えを基本とする方針としました。

Q5. 今後も住民や利用者の意見を聴く機会はありますか。

A. 今後の設計等において、具体的な施設機能や部屋の配置などについて、地域の皆様や施設利用者等のご意見を伺いながら検討を進めます。

4 今後の進め方

決定した方針に基づき、地域の皆様や施設利用者等のご意見を伺いながら設計等を進めます。具体的なスケジュールや利用案内は、決まり次第お知らせします。

【お問い合わせ先】

佐野市総合政策部財産マネジメント課

TEL:0283(20)3050

メール:smanagement@city.sano.lg.jp